



宗祖法然上人 800回大遠忌 通信 号外Ⅲ

2008年(平成20年)10月

4



法然上人の行跡を顕彰し
その功績を偲びませんか

法然上人を歩く旅
(二七〇キロのウォークラリー)

法然上人がお生まれになったのは現在の岡山県です。この生誕の地から京都比叡山までの約二七〇キロを十四回にわけて歩くものです。
今まで八回を数え、歩いた距離は百四十一・五キロ。次回は十二月十四日(日)に山陽線東加古川駅から舞子駅までの二十五キロを歩きます。

※詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

法然上人へ絵手紙を
書いてみませんか

法然上人に手紙を出すという仮想の中で、自分の想い、願い、夢などを絵手紙で表現していただこうというものです。

応募期間(第二回)

平成二十年十月～十二月末

応募規定

葉書大に絵手紙を書き封書で郵送(個人情報保護のため)
絵にはひと言添えてください。

応募資格 不問

※応募作品の著作権は主催者に帰属。

法然上人最後の教え
「一枚起請文」を
なぞり書きしてみませんか

管長猊下ご染筆の色紙(印刷)を入れた写経セットには、写経用紙とともに、鉛筆やボールペンで、手軽になぞり書きできる用紙も同封しています。
ぜひこの機会にご本山への奉納をおすすめいたします。
奉納回向をして御影堂下の特設納経所に一年間お祀りいたします。

写経用紙セット

一セット 一、〇〇〇円

(含 奉納回向料)

宗祖法然上人800回大遠忌記念事業事務局

〒606-8445

京都市左京区永観堂町48

総本山 永観堂禅林寺内

電話 075-761-0007 FAX 075-771-4243

ホームページ <http://www.eikando.or.jp/daionki/>

法然上人といのち 共生への思い

共生という言葉が、よく使われるようになりました。たとえば自然との共生というように、自然のあらゆるいのちが、ともに生きることの大切さをいっています。特に地球環境の悪化が危惧されるなかで、共生ということは大切な理念です。

この「共生」の言葉のルーツは、実はわたしたちが普段から仏前でおとなえしているお経にあります。「三尊礼」というお経のなかに、「願共諸衆生 往生安楽国」という一節があります。

この一節は、法然上人が師と仰いだ善導大師（中国・唐の時代に活躍された念

佛の祖師）が、『往生礼讃偈』において、何度も何度も繰り返しかえし使われた偈文です。繰り返されたということは、それだけ善導大師ご自身の思いがこもっているということでしょう。

この願共の「共」と、往生の「生」を合わせてできたのが、「共生」という言葉です。となると、私たちは普段から、「共生」という言葉を、お唱えしていたことになりました。

「願共諸衆生 往生安楽国」の意味というのは、「願いますところは、もろもろの生きとし生けるものが共に、お浄土に往生できますように」ということで

す。この、あらゆる命ある存在が、ともに、お浄土に生まれていくことを願うこの一文は、念佛に縁ある私たちには、大きな意味をもっています。

一般的には、共生という意味は、生きとし生けるものが、お互いに関係性を持ちながら生きていくことをいいます。いのちが関わりあうという縁起性は、いのちの大切さを知るには大切なことです。

その上に、いのちあるものが、共にお浄土に向かうという意味が加わっているというのは、いのちの尊さを、より深く教えてくれます。

『星の王子様』の作者で知られるサンテグジュベリは、こういっています。

「ほんとうに愛するとは、お互いがお互いを見つめ合うことではなく、お互いが同一方向を見上げることである」

共生の思想には、いのちあるもの同士が、相向かい合っているのちの尊さを思うだけではなく、ともに同じ方向に進んでいくことが意味されています。

お念仏をいただけるということは、人が本当の意味で愛し合えることになるのでしよう。

宝泉寺 伊藤信道



山越阿弥陀如来像（部分）